

仕事と生活の バランス

2023
WINTER

vol.63

育休で
自分が変わる 社会が変わる

（2023ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ
兵庫県雇用対策三者会議賞作品・一般の部）

わが社のWLBな人

詳しくは裏表紙へ



特集

ワーク・ライフ・バランス フェスタを開催 先進的な取組を進める15企業・団体を表彰

4・5 | ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰 6 | 事業報告
7 | センターからのお知らせ／県政トピックス
8 | わが社のWLBな人

ワーク・ライフ・バランスフェスタを開催 先進的な取組を進める15企業・団体を表彰



「ひょうご仕事と生活センター ワーク・ライフ・バランスフェスタ」が11月17日、神戸市の兵庫県公館で行われ、15の企業・団体が「ひょうご仕事と生活のバランス企業」として表彰されました。

ひょうご仕事と生活センターは、兵庫県、県経営者協会、連合兵庫と兵庫労働局の4者共同宣言の下に2009年度に開設され、仕事にやりがいや充実感を感じ、責任を果たしながら、一方で個々の私生活も充実させるワーク・ライフ・バランスを企業・団体に浸透させる取組を進めてきました。

フェスタの冒頭あいさつに立った片山安孝兵庫県副知事は「近年、人口が減少し労働力不足が課題となっている中、従業員の仕事と生活の調和が可能な労働環境がますます求められています。そのためには働き方の見直し、多様な人材の確保、生産性の向上などの取組が欠かせません。県としてもワーク・ライフ・バランスの普及に向けた取組をさらに推進していきたい」と述べました。



片山副知事

続いて、「ひょうご仕事と生活のバランス企業」の表彰

式が行われ、15の企業・団体に表彰状が手渡されました。ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズの表彰式では、兵庫県雇用対策三者会議賞（グランプリ）作品「育休で自分が変わる 社会が変わる」の作者・脇本昌宏さんが他の入賞者とともに表彰されました。また、自らリーダーとなりワーク・ライフ・バランスの推進役を担うキーパーソンの養成講座に参加した13企業・団体17人の修了式も行われました。

この後、同志社大学政策学部教授の太田肇氏が、「やりがいと生産性を高める未来の働き方」をテーマに講演。「ジョブ型雇用は日本の会社にはなじみにくいと考えています。そこで、雇用されているか否かを問わず、独立自営型でまとまった仕事をする自営型雇用を提案したい。個人の裁量が増え、おのずと公私融合型のワーク・ライフ・バランスが実現するのではないのでしょうか」と述べました。

最後にひょうご仕事と生活センターの辻芳治センター長が、「センターは24年6月に開設15年を迎えます。ワーク・ライフ・バランスを通じてもっと幸せになれる社会への扉を開いていきたい」と述べ、閉会しました。



辻センター長

やりがいと生産性を高める 未来の働き方

for the future

同志社大学政策学部教授 太田 肇氏



ワークエンゲージメントが低い日本

日本の1人当たりGDPは1990年代半ばに急落し、2020年には23位まで低下しました。工業化社会からポスト工業化社会に移行し、定型的な業務はITに取って代われ、人間にはイノベーションにつながる仕事求められるようになりました。多くの失敗の中からイノベーションは生まれますが、完璧主義を求める日本では失敗が許されないため創造性は生まれにくく、対照的にそれを良しとするアメリカが90年代からV字回復を遂げました。

仕事に対してポジティブで充実した心理状態のことを指すワークエンゲージメントという概念があります。熱中、献身、没頭という3つの要素からなり、その度合いも日本人は世界最低水準です。エンゲージメントを左右する要素には、仕事の裁量の自由度があるか、思うようなキャリア形成ができていないか、の二つがあります。日本の会社は、個人の仕事の範囲が明確でないため、仕事のやり方を変えたり、時間の融通を利かせることが難しい。また人事が異動を決めるのでキャリアも形成しにくいのです。

メンバーシップ型からジョブ型、そして自営型へ

これらの課題に対する改革の切り札として取り入れられているのが、従来のメンバーシップ型雇用の対極にあるジョブ型雇用です。ジョブ型では、職務によってそれぞれの仕事の役割、能力、報酬が決められ、職種に沿ってキャリアが形成され、キャリアを持って転職をしていきます。働く人にとってはその道のスペシャリストになることができ、会社にとっては雇用調整をしやすいというメリットがあります。

ところが、日本でジョブ型を導入しようとするると厚い壁に当たります。そのジョブがなくなった場合、会社にとっては辞めてもらうしか、働く人にとっては転職するしかありません。ただ、日本では、職務がなくなったからといって

解雇できないし、転職を受け入れる労働市場も機能していません。また職種内、職種間の報酬格差が広がることを平等主義を原則とする労働組合が認めないでしょう。中小企業の場合、1人が人事も総務も経理もこなさなければなりません。ジョブ型雇用が日本の会社に合っているかどうかは疑問です。

そこで新しい働き方、自営型を提案したいと思います。組織に雇用されているか否かにかかわらず、独立自営のようにある程度まとまった仕事をする働き方です。企業の中で1人の従業員がある仕事を丸々受け持ち、そのビジネスが大きくなって独立したとしても会社のパートナーとして一緒に仕事をするようなスタイルです。フリーランス、雇用労働者どちらにも自営型があります。

自営型のメリットは、まとまった仕事を任せるので柔軟性が高いことです。たくさんの仕事を同時にこなせるので労働力不足の解決にもつながります。具体的には、メーカーで1人が製品の開発から製造、マーケティングまで責任を持つとか、旅館で接客から洗い場まで複数の仕事を担当する事例があります。デジタル化によってスマホやパソコンで全体の状況が把握でき、チームで情報を共有できるようになったことも、こうした働き方を後押ししています。

公私融合でワーク・ライフ・バランスを

自営型が増えてくるとワーク・ライフ・バランスの在り方も見直す必要があります。工業化社会では生活に仕事を介入させないところに焦点が当てられてきました。しかし、自営型では公私を分けるのではなく融合させる視点が求められます。仕事が定型化されていないため、勤務時間が過ぎても仕事に取り組めるし、逆に早く片付ければ休める。つまり、時間に対する自由度が高くなるということです。

従来のように従業員・社員を一つの固まりとして見るのではなく、個人個人に焦点を当てて、そこからマネジメントや組織をつくり直していく時期に来ています。

ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

受賞企業・団体と主な取組内容（五十音順）

〔製造業〕

アイベステクノ株式会社 （姫路市）

従業員が自分のこどもや家族に勧められる会社にするための働きやすい環境づくり

- ・文系出身者を知識ゼロからCADオペレーターに育成する仕組みを構築
- ・企業主導型保育所を創設し、長く働き続けられる環境を整備。出産後復帰率100%

〔サービス業〕

株式会社ウエルネス （尼崎市）

WLBと健康経営に力を注ぎ、従業員がいきいき働ける職場環境づくり

- ・現場への直行直帰が基本の業務形態のため、グループウェアを活用し大幅な業務改善を実現
- ・メンター制度や社内の親睦事業により、コミュニケーション不足を解消

〔製造業〕

エム・シーシー食品株式会社 （神戸市）

働きやすい職場環境づくりのワークショップを開催し、業務改善、コミュニケーション強化

- ・新工場建設に当たりタスクチームを結成。従業員の意見を取り入れた快適な職場環境を実現
- ・高卒者の給与を入社4年で大卒者と同水準とし、高卒者のモチベーション向上と離職率低下を推進

〔製造業〕

菊正宗酒造株式会社 （神戸市）

こどもがいる従業員も安心して長く働ける職場づくり

- ・WLB向上のための従業員満足度向上委員会を設置し、仕事と子育てが両立できる環境づくり
- ・こどもが小学3年生までの時短・在宅勤務等を導入。女性従業員の育休取得率・復帰率100%

〔製造業〕

近畿工業株式会社 （三木市）

業務効率向上によるWLBを推進し、ハッピーカンパニーを実現

- ・生産体制を考慮した提案型営業と部門間の情報共有により効率化と業務負荷を分散
- ・受注時期、休日工事、テスト業務への対応見直しで、売上高3割アップと残業時間6割削減を達成

〔製造業〕

キング醸造株式会社 （稲美町）

和を大切にした従業員同士のコミュニケーション促進で、他部門との協力体制を構築

- ・部門間研修や各種段階別研修を実施。仕事への責任感とやる気を創出
- ・全従業員対象の自己申告書制度を活用し、やりがいのある職場環境を実現

〔医療・福祉〕

特定非営利活動法人こぐまくらぶ （明石市）

知識や経験不足を補うため内部・外部研修を充実させ、無資格未経験者も積極的に採用

- ・全従業員投票による人事評価を実施し、得票の多い従業員を表彰
- ・障がい福祉の基本理念と保育理念を職員と共に作り上げ、浸透を図る組織風土を形成

〔製造業〕

三和鋼業株式会社 （尼崎市）

人の和を大切にオンリーワンの働き方を追及した職場環境づくり

- ・ワンマン経営から脱し、従業員が能力を発揮できる専門集団としての組織づくりに取り組む
- ・社長面談を実施し、社員の気持ちや意見を直接聞き設備改修するなど信頼関係を構築

〔製造業〕

株式会社ソーイング竹内 (多可町)

ビジョン「New Nū Company～人と想いを縫い合わせ新たな価値を創造する」に沿った取り組み

- ・業務改善プロジェクトチーム「会社を良くしよう会」で会社の課題等を協議し改善策を提案
- ・フレックスタイムの活用により各自のライフスタイルに合わせた勤務体制を実現

〔製造業〕

有限会社高島産業 (伊丹市)

社員全員のより良い生活とより良い人生を築くことができる職場づくり

- ・業務内容・生産状況等の情報共有や能力に応じた権限の付与により従業員の意欲が向上
- ・全ての作業工程において多能工化を図り、負担削減により残業0を実現

〔製造業〕

タジマ食品工業株式会社 (豊岡市)

ライフステージが変化しても働き続けられる会社をめざす

- ・残業時間削減に向けた労使協議、部署ごとの時差勤務制度等、柔軟な働き方を提供
- ・女性活躍推進グループを立ち上げ、キャリア形成やスキルアップ意欲を醸成

〔医療・福祉〕

医療法人社団はるき小児・矯正・歯科 (明石市)

女性が働きながらも子育てができる職場環境づくり

- ・明石市内初となる企業主導型保育園を設置し、働き続けられる環境を整備
- ・週休3日制やフル～パート転換制度など多様な働き方を導入

〔製造業〕

フジッコ株式会社 (神戸市)

心理的安全性のある職場づくりで、ダイバーシティ&インクルージョンの実現へ

- ・社長が国内全ての職場を訪問して従業員と対話する「六さん会」の実施
- ・未就学の子を育てる男性社員向け食育料理研修や出産時特別休暇等、仕事と子育ての両立を支援

〔建設業〕

不二電気工事株式会社 (尼崎市)

社員に寄り添って一緒に悩みを解決し、長く健康に働き続けることのできる会社づくり

- ・全社員への正当な人事評価のため、自身の成果と目標を見える化して発表する場を設定
- ・健康セミナーの実施や医療機関と連携した無料相談窓口の設置など社員の健康増進に注力

〔製造業〕

松谷化学工業株式会社 (伊丹市)

「社員は家族」という企業風土を受け継ぎ、仕事と生活の両立支援制度を独自に整備

- ・社内大学開講に向けて、社員一人一人が自らキャリアを考え成長できる組織風土の醸成
- ・仕事と育児・介護の両立にむけ、社員のニーズや社会情勢を勘案した各種制度の導入



2023年度 ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズを 決定しました

「共に創る未来のための新しい働き方を促進するキャッチフレーズ」を募集したところ、2,026作品（一般の部329作品、学生の部1,697作品）の応募があり、審査の結果、次のとおり受賞作品を決定しました。受賞者は11月17日開催のワーク・ライフ・バランスフェスタにおいて表彰されました。

【一般の部】

兵庫県雇用対策三者会議賞（グランプリ）

「育休で 自分が変わる 社会が変わる」

脇本 昌宏さん（尼崎市） 会社員

兵庫労働局長賞・働き方改革賞（準グランプリ）

「見つけようくらしと仕事の ちょうどいい」

大津 快也さん（三田市） 会社員

ひょうご仕事と生活センター長賞（佳作）

「時間は有限 工夫は無限
柔軟な発想が未来を変える」

岡田 竜也さん（加西市） ヨドプレ株式会社（2011年度表彰企業）

【学生の部】

兵庫県雇用対策三者会議賞（グランプリ）

「見直そう 我が人生の 時間割」

増谷 哲尊さん（神戸市） 神戸学院大学附属中学校

兵庫労働局長賞・働き方改革賞（準グランプリ）

「家・趣味・仕事 ぜんぶ大切 あなたの居場所」

岩崎 樹さん（神戸市） 学生

ひょうご仕事と生活センター長賞（佳作）

「守りたい 職場のえがおと 家庭のえがお」

道清 憩さん（神戸市） 神戸学院大学附属高等学校

シンボルキャラクターWLB7の名称が決定しました

全国から5,315点の応募があり、厳正な審査の結果、各キャラクターの名称が決まりました。決定した名称に複数から応募があったため、抽選でお1人を名付け親としました。これからも7人の社員をよろしくお願いいたします。



ペンギン（子育て）

「はぐペン」

名付け親：コタラフさん（茨城県）



みつばち（女性活躍）

「アクティビー」

名付け親：Dさん（兵庫県）



さる（介護）

「ケアモン」

名付け親：大井田 雄策さん（東京都）



ぞう（再雇用）

「ヤルぞう」

名付け親：兵庫県立長田商業高校社会人
情報経理専修コースさん（兵庫県）



くま（テレワーク）

「テレくま」

名付け親：とよさん（東京都）



カエル（フレックスタイム）

「フレッグ」

名付け親：田中刻鷹さん（兵庫県）



ライオン（キーパーソン）

「キーライオン」

名付け親：天野 羽琉さん（兵庫県）

2023年度下期 ひょうご仕事と生活の調和推進認定申請企業の募集

当センターでは、ワーク・ライフ・バランスの取組を進め、一定の成果を収めている企業・団体を厳正に審査し、「認定」しています。認定審査を希望する企業・団体のご応募をお待ちしています。

【応募対象】「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」に登録されている県内事業者で、「ワーク・ライフ・バランスWEB自己診断システム」の総合評価がおおむね星印2つ以上の場合、応募できます。

【応募方法】 次の書類をセンターまで持参または郵送

- ①ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定申請書
 - ②労働関係法令等チェックリスト
 - ③ワーク・ライフ・バランスWEB自己診断システムの診断結果(写し)
- ※申請書類はセンターのホームページからダウンロードできます

申請書類は
こちらから



【応募締切】 2024年1月19日(金)

WLB表彰企業が集まる「WEB企業研究フェア」をオンライン開催

ワーク・ライフ・バランスの先進的な取組を行い、他の企業の模範となるような「表彰企業」だけが集まる「WEB企業研究フェア」をオンライン開催。学生に対して、企業の魅力を存分にアピールできる機会を提供しています。

【日時】 2024年2月19日(月) 12:30~16:00

【対象】 全学年対象 大学院生・大学生・短大生・高専生・専門学校生

【方法】 WEBリモート方式(Zoom)

【参加企業(団体)数】 42社(団体)〔予定〕



「ひょうごで働こう! マatchingサイト」に求人掲載しませんか? 参加無料

インターネットを通じた就職・転職活動が増えています。そこで兵庫県では、県内での仕事を探している人に直接求人情報を届けるため、「ひょうごで働こう! マatchingサイト」を運営しています。

現在、マatchingサイトに求人を掲載していただける企業を募集中です。

さらに、ワーク・ライフ・バランスの表彰・認定・宣言など、県および県内市町の企業等顕彰制度の認定を受けている企業であれば、「移住支援金[※]対象法人」になることができ、求職者への求心力も高まります。詳しくは、県ホームページをご覧ください。

※移住支援金…東京圏からの移住を伴う就業の場合、移住者に対して移住支援金が給付される場合があります



問い合わせ先：兵庫県産業労働部労政福祉課 TEL 078-362-9168

兵庫県 移住 マatching 検索

わが社のWLBな人

シンボルキャラクター「WLB7」のテーマに沿ってワーク・ライフ・バランス(WLB)を進める方々をFacebook、Instagramで取り上げています。

2023年7月～9月に取り上げた人・グループを投稿日順に紹介します。



Instagram



facebook



WLB7

はぐペン(ペンギン)…夫婦共働きで協力しながら子育て
 ケアモン(さる)…親の介護を行いながら職務に励む
 テレくま(くま)…テレワークを利用して在宅勤務
 キーライオン(ライオン)…社内におけるWLBのキーパーソン
 アクティビー(みつばち)…女性社員のリーダーで初の女性役員候補
 ヤルぞう(ぞう)…再雇用制度を利用するベテラン
 フレグ(カエル)…フレックスタイムを利用

【2022年度認定企業】

神戸新交通株式会社(神戸市) (写真右から) 森さん、西田さん、勝浦さん [表紙写真:左]



キーライオン
(キーパーソン)

同社では、勝浦さん、森さん、西田さんの3人がWLB推進を担っています。WLBの必要性や取組を周知し、さらには社員の新たなニーズに対応できる制度や仕組みなども打ち出しています。在宅勤務規程の制定や、過去に育児休業を取得した社員へのヒアリングを行い、育休取得者が職場復帰しやすい環境づくりや女性

のキャリアアップ研修の実施など新たな取組を展開しています。同社のWLBビジョン「気持ちにゆとりを持ち笑顔があふれる職場」に向けて、3人のキーパーソン自らが笑顔で新しい挑戦をし続けています。

〈2023年7月〉

【2022年度認定企業】

株式会社籠谷(高砂市) プロジェクトチームKNC [表紙写真:中]



アクティビー
(女性活躍)

同社は2021年、創業100周年を迎えたことをきっかけに、女性社員のみで構成したプロジェクトチーム『KNC(Kagotani Nadeshiko Challenge)』を立ち上げました。女性の従業員が多い会社なので、KNCでは、女性が活躍でき、かつ働きやすい環境づくりを推進。月1回ミーティングを開催し、多様な働き方ができるよう、妊

娠・出産・育児に関する休暇の新設や、女性の意見を取り入れた新商品の開発、メンター制度の導入などを実施してきました。キャリアデザイン研修や、管理職のキャリアアップに向けた取組などを実践し、現在は女性活躍推進を強化しています。

〈2023年8月〉

【2023年度表彰企業】

株式会社ソーイング竹内(多可町) 稲田さん [表紙写真:右]



フレグ
(フレックスタイム)

15時に退社して、ダンスレッスンに通っている稲田さん。同社に入社して5年、入社当初は仕事とダンスの両立が難しく一時期ダンスから遠ざかっていました。2022年に社内で「フレックスタイム制を積極的に使っていこう!」という雰囲気になり、それならとダンスを再開。月に数回フレックスタイム制を利用することで業務の段取り

を意識するようになり、時間の使い方が以前とはかなり変化しているそうです。「切り替えて働くことで自分の時間もしっかりつくれる。会社にとっても感謝している」とおっしゃっていました。

〈2023年9月〉

センターの主な事業

- ワンストップ相談 ● コーディネーター、コンサルタントの派遣 ● 外部専門家による研修・実践支援
- テレワークサポートセンター ● 自己診断システム ● 中小企業従業員意識調査 ● 企業助成

公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会 ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00(祝休日、年末・年始を除く)

阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68

尼崎市中小企業センタービル6階

TEL 06-6481-1888

姫路事務所

〒670-0947 姫路市北条1-98

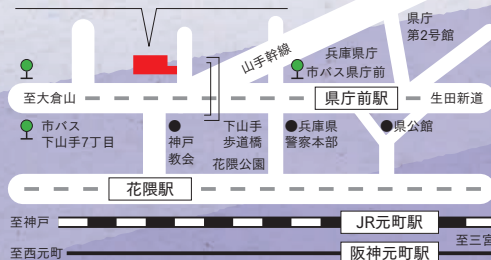
兵庫県立姫路労働会館1階

TEL 079-288-2603

携帯、
タブレットから
アクセスできます



兵庫県中央労働センター1階 ひょうご仕事と生活センター



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩9分
- JR「元町」駅西口から北西へ徒歩12分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から北西へ徒歩14分

(2023年12月発行)

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

ひょうご仕事と生活センター

検索